



2021

Sustainability Report

サ ス テ ナ ビ リ テ ィ レ ポ ー ト



生活協同組合
コープあいち



コープあいち
キャラクター
ほこちゃん

© やなせたかし

あいさつ 笑顔あふれる 2030 ビジョンの実現をめざして



コープあいち
専務理事
箕浦 明海

新型コロナウイルス感染症

2020 年度は新型コロナウイルスに起因する未曾有の 1 年でした。

コロナ禍で私たちはあたりまえのくらしに本当に大切なもの、本当に必要なものは何であるかを気付かされました。4 月には学校が休校となったことによる酪農生産者を応援する企画にたくさんの組合員のみなさんご協力いただきました。また、急激な供給増で欠品・抽選など組合員のみなさんには大変なご不便とご迷惑をおかけしたにもかかわらず、組合員のみなさんから職員、お取引先のみなさんに心温まる励まし、労いの言葉やお手紙をいただきました。一人ひとりが互いを思いやる「たすけあい・ささえあい・わかちあい」を理念とする協同組合の意義を改めて実感いたしました。

「2030 ビジョン」の現実に向けて

コープあいちはこれまでの 10 年のあゆみを踏まえて、次の 10 年にめざしたい「2030 年ビジョン」を作成いたしました。

これまでも組合員との絆を大切に、地域とのつながり、行政との連携、さまざまな取引先との連携を力にしながら SDGs にかかわる課題に事業・活動を通して取り組んできました。そのような積み重ねで、豊明市とは「食糧支援フードギフト」や「緊急生活支援事業協定」を結び、コロナ禍での生活応援を連携して行ってきました。また、名古屋市 16 区では初めて名東区と「高齢者見守り支援協定」を結ぶことができました。小牧市から始まった「子育て支援協定」は長久手市、犬山市、日進市、田原市、稲沢市、豊橋市と広がりました。今後は締結した行政と、日頃から情報交換を行い地域のためにお互いができることを連携し合う関係を深めていきたいと思います。

今の地球は温室効果ガスの排出によって地球環境が荒らされ各地で異常気象や自然災害が相次いで発生しています。引き続き、コープあいちは 2030 年の CO₂ 排出削減目標に対する実行プランを推進し、事業・活動を通じて次世代の子どもたちの笑顔あるくらしをめざす取り組みをすすめていきます。

コープあいちは、激変する社会にあって、愛知県内で仲間を増やし、宅配や店舗事業の改善・改革や福祉事業の安定化を進め、引き続き組合員の視点、地域の視点、福祉の視点を大切に、生産者・お取引先のみなさん、地域のみなさん、数多くのステークホルダーのみなさんと共に多様な願いの一つひとつかたちにしていきます。

本サステナビリティレポートをお読みいただいたみなさんの、ご支援ご鞭撻をお願いいたします。

2030 年にむかって

2030 年ビジョンづくり

コープあいちは、2018 年 6 月第 9 回通常総代会で「SDGs 行動宣言」を採択し、SDGs を全ての事業や活動のベースに据えることを宣言しました。その後、「SDGs 推進委員会」を設置し、次の 10 年にコープあいちがめざすことを SDGs17 ゴールにそって、6 つの柱にまとめました。さらに 2020 年 6 月に「2030 年ビジョン検討委員会」を立ち上げ、6 つの柱を基本に「2030 年ビジョン」の具体的な検討が始まりました。コロナ禍で中断したこともありましたが、夏には組合員に向けて広くアンケートをとり、秋には理事会と職員がいっしょにワークショップを行うなど多くの願いや想いを集めながら、一人ひとりができる取り組みとして、「2030 年ビジョン」にまとめ上げる作業をすすめました。2020 年 3 月に 10 周年を迎えたコープあいちにとって、これまでの 10 年を振り返り、次の 10 年に向けた新たなチャレンジを考える貴重な機会となりました。



※二次元バーコードのリンク先は、2021 年 6 月段階のリンク先です。時期によってはリンクできないこともあります。
※部署名や役職肩書などは 2021 年 6 月現在のものです。

SPECIAL CONTENTS

コロナ禍だからこそ力を発揮した コープあいちのたすけあいの活動

P3-4



次の 10 年にめざしたいこと

誰もが健康で心豊かに安心してくらせる 地域社会づくりをすすめます

P5-8



宅配事業 / 店舗事業 / 福祉事業
給食休止などで困った生産者をサポート
牛乳の利用の呼びかけ
第 11 回 通常総代会
手づくりマスクの取り組み

2020 年の取り組みから

地域のみなさん、
行政や諸団体とのパートナーシップを
新たに協定を結んだ自治体
緊急対策生活支援事業「まごころサポート便」
協同組合間 協同
「令和 2 年 7 月豪雨」に支援募金
安心してくらせるまちづくりを NPO 設立

住みなれたところで安心してくらし続けるために
福祉事業
コープ相談センター・くらしの相談室
くらしのたすけあいの会

食を通して安心を届けて

ふれあい便
夕食宅配
モーニングコープ / 移動店舗

消費行動やくらしのあり方を見直しながら、 持続可能な食の循環を発展させます

P9-10



「利用」から見える、世界・地球とのつながり
持続可能な食をめざして エシカル消費
COOP のエシカル商品

消費行動や食生活を考える取り組み

私の健康 食習慣チェック活動
もったいないセミナー / もったいない懇談会
ブロック LINE / 虹の会オンライン学習会

地球温暖化対策に積極的に取り組み 未来の子どもたちへ引き継ぎます

P11-12



今日からできる環境を守るくらし方

脱プラ・減プラ / エコセンター

循環型社会の実現に向けて

コープあいちの実績

2030 年温室効果ガス削減計画

飢餓や貧困をなくし、子どもたちを 支援する活動を推進します

P13



フードバンク・セカンドハーベスト名古屋
ユニセフ募金活動
I CAN (アイキャン)

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざし、 次世代へ継承します

P14



平和川柳・ぬりえ
核兵器廃絶への思いを活動にこめて
ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

多様な人々の共生、 おたがいを理解し合える社会づくりに貢献します

P15-16



だれもがいきいきと働ける社会へ

障がい者雇用 / 再雇用

働きやすさと力量アップ

職員学習
新本部事務所の開設



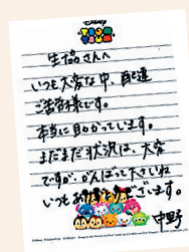
コロナ禍だからこそ力を発揮した コープあいちのたすけあいの活動

「外出自粛」でも「安心」をお届け… 宅配事業

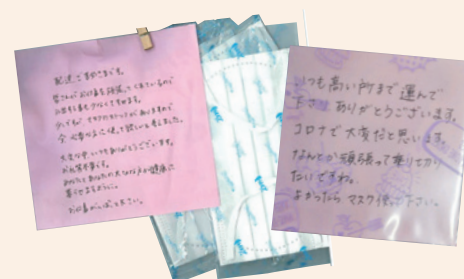
2020年度は新型コロナウイルス感染拡大から、宅配需要が高まりました。組合員みなさんに安心して生活していたできるように継続した感染対策を行い、商品を安全かつ確実にお届けすることを最優先に取り組みました。配達先で直接お会いできない状況のもと、物量が増す中でもていねいに商品を置くことで組合員へ気持ちを伝えるように心がけました。ドア越しや手紙で組合員からいただく「ありがとう」の声は、職員の大きな励みになりました。シニア世代や持病がある方からも玄関先まで必要な商品をお届けすることで、感謝の言葉を多くいただきました。コロナ禍初期はマスクや抗菌商品、カップ麺や缶詰などが多く利用され、その後は外出を控え自宅で過ごす時間が長引くことで内食需要が高まり、「親子で調理」、「お取り寄せ」、「園芸用品」など、家庭で楽しむ商品の利用が増えました。



夏の炎天下でもマスクやグローブで
感染対策をして配達する職員



組合員から宅配の職員に対する
感謝のお手紙



マスク不足もある中で
組合員からのお手紙とマスクが届きました

給食休止などで困った生産者をサポート… 牛乳の利用を呼びかけて

新型コロナウイルスの感染リスク対応により小学校・中学校が休校となったため学校給食がなくなり、牛乳の利用が激減しました。生乳が余ることで苦境に立つ酪農家、牛乳メーカーを支援するため、コープ宅配では、3月1週、3月2週の2週間にわたり、「せいきょう牛乳」を10円引きの緊急普及価格で販売しました。チラシ配布と担当者からの声かけで利用を呼びかけ、多くの組合員から通常よりプラス1本のご利用をいただきました。



感謝の気持ちがあつまって

「牛乳飲んでます。生協の組合員として、助け合えることがあったら呼びかけてほしい」

「少しでも協力ができればと思い利用しました。牛乳をあまり飲まなかった息子も牛乳好きになりました!」「生協牛乳は世代を越えて愛飲していますが、このような事態でいっそう利用したいです」「日頃ノン GMO のえさなど安全安心のために努力されている生産者のみなさんのためにできるだけ利用を増やしたいです」などメッセージが寄せられました。

コロナ禍での お買い物

店舗事業

組合員、職員の安全安心を
最優先に感染予防対策を徹底しました。

組合員には混雑時間帯を避けた最少人数のご来店、マスクの着用、アルコールによる手指消毒をお願いし、さらにレジ清算時には間隔を空けてお並びいただくことを呼びかけました。

また、職員との接触を抑制し、飛沫感染を防止するため、透明レジガードを設置し、釣銭トレーを活用しました。精算方法のキャッシュレス化もすすみました。

「安心して買い物ができます。お仕事頑張ってください!」など、励ましの声をたくさんいただきました。



事業継続に 向けた取り組み

福祉事業

利用者の生活をささえる

ご利用者・ご家族に感染防止に向けたご協力のお知らせを都度発信し、ご利用者のみなさまと一緒に感染防止をすすめました。地域の介護施設でクラスターが発生する中、施設内での感染を防ぎ、必要なサービスをご利用者様へ提供することができました。



くらしの変化や 工夫を出し合って

第11回 通常総代会

第11回通常総代会は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面出席を推奨する中での開催となりました。総代会に向けてコロナ禍でどんなくらしの変化が起きているのかや、自粛生活が続く中でも工夫していることを紹介しました。総代のみなさん同士で想いを寄せ合い、生協の価値を確認し合う機会になりました。



▲コロナ禍での取り組み
の動画を作りました

手づくりマスクの 取り組み

デイサービス 蒲郡

新型コロナウイルスのまん延でマスクが不足し、職員が困っていたところ、一人の利用者さんから「つくってあげたいけど布とゴムを買いに行けない」という声があがりました。

すぐに職員が買いに行き型紙とともに渡して、デイサービスの『機能訓練の一環』としてマスクづくりが始まりました。

職員と5人ほどの利用者さんのがんばりでできあがったマスクは、デイサービスの利用者さんや職員にとって大切な1枚になっています。

第1波到来中の暗くて不安なコロナ禍を、デイサービス蒲郡は利用者さんと一緒に元気に乗り切りました。



誰もが健康で心豊かに安心してくらせる 地域社会づくりをすすめます



地域みなさん、行政や諸団体とのパートナーシップを

コープあいちは、7ブロックのエリア体制で地域のニーズをきめ細かく把握し、行政や地域の諸団体とのパートナーシップを大切に、地域とのつながりを強めています。住み慣れたまちで、誰もが安心して暮らし続けられるように、コープ宅配・店舗、福祉施設など65カ所で見守っています。

災害支援協力に関する協定

災害時における応急生活物資の供給や徒歩帰宅者支援など

発災時、より実践的に対応できるよう、コープあいち・東海コープ共通のBCP（事業継続計画）の見直しと訓練をすすめています。

地域の見守り協定

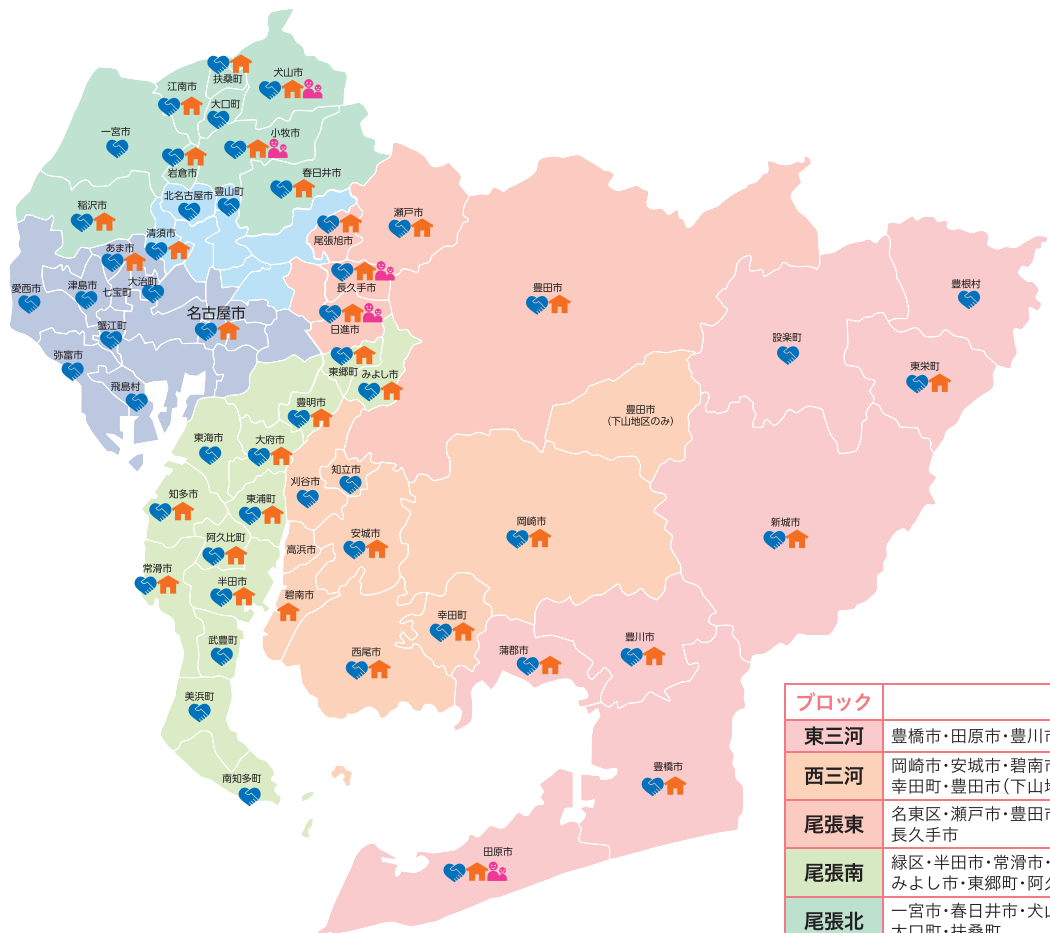
業務中など高齢者等の異変に気づいた場合は必要な情報を市や町へ通報

業務中（届けた商品や弁当が、手つかずのまま残っている等）や高齢者等の異変（街中を徘徊している人がある等）に気づいた際に必要な情報を市や町に通報しています。

子育て支援協定

子育て支援にかかわる連携・協力や業務を通じた児童虐待防止のための見守り活動など

児童虐待防止のための見守り活動や食育講座の開催、乳児がいる方への支援などを中心とした協定を現在までに7自治体（小牧市、長久手市、日進市、犬山市、田原市、稲沢市、豊橋市）と結んでいます。



ブロック	該当する行政区
東三河	豊橋市・田原市・豊川市・蒲郡市・新城市・設楽町・東栄町・豊根村
西三河	岡崎市・安城市・碧南市・刈谷市・西尾市・知立市・高浜市・幸田町・豊田市（下山地区のみ）
尾張東	名東区・瀬戸市・豊田市（下山地区を除く）・尾張旭市・日進市・長久手市
尾張南	緑区・半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・豊明市・みよし市・東郷町・阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町
尾張北	一宮市・春日井市・犬山市・江南市・小牧市・稲沢市・岩倉市・大口町・扶桑町
名古屋北	千種区・東区・北区・西区・守山区・清須市・北名古屋市・豊山町
名古屋南	中村区・中区・昭和区・瑞穂区・熱田区・中川区・港区・南区・天白区・津島市・愛西市・弥富市・あま市・大治町・蟹江町・飛島村

新たに協定を結んだ自治体…ひろがるたすけあいの輪



田原市と「子育て支援に係る連携・協力に関する協定書」



犬山市と「子育て」及び「児童虐待防止見守り」協力に関する協定



名古屋市名東区と「高齢者の見守り活動に関する協定」



稲沢市と「子育て支援に係る連携・協力に関する協定」



豊橋市と「子ども子育ての協定」

豊明市 新型コロナウイルス 緊急対策生活支援事業「まごころサポート便」

コロナ禍で生活に打撃を受けた市民に生活物資を届ける緊急支援協定を豊明市・豊明市社会福祉協議会・コープあいちで締結。12月～3月（月1回計4回）、コープとよあけ店で食料品を梱包し、企業組合ワーカーズコープあいちが配達しました。利用者のアフターフォローは豊明市社会福祉協議会と連携し「だれ一人取り残さないまち」への実現に向けた取り組みとなりました。物を届けるだけでなく配達という接点をいかし「まごころも届ける」そんな人と人をつなぐ事業をめざしました。

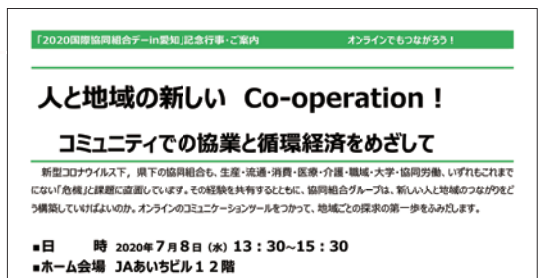


ワーカーズによる配達積み込みの様子 コープとよあけ店での梱包の様子

協同組合間協同

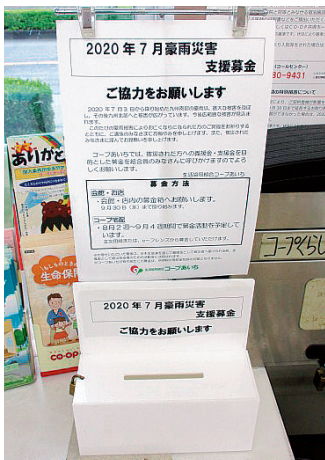
国際協同組合デー※の記念行事として、愛知県内の協同組合間で相談しオンライン学習会を開催しました。「コロナ禍での協同組合の実践」を紹介し合い、教訓や課題を共有しました。

※世界の協同組合が協同組合運動の発展を祝い、さらなる前進を誓い合う日として毎年7月第1土曜日を「国際協同組合デー」としています。



「令和2年7月豪雨」に 支援募金 1,718万6,089円

7月3日から降り始めた豪雨は、九州を中心に全国各地に大きな被害をもたらしました。コープ宅配・店舗で、組合員に募金の協力を呼びかけ、1,718万6,089円の募金が集まりました。集まった募金は、日本生活協同組合連合会を通して、山形県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県の6つの県で活用されました。



店舗に募金箱を設置し、募金への協力を呼びかけました

安心してくらせるまちづくりを 協同の力で

コープあいち・名古屋第一法律事務所・新大和税理士法人の3者で協力し、「長生きを喜べる社会」の実現のために、「身元保証」「遺言書作成」「相続実務」などのお手伝いをするNPO法人あんきネットを設立し活動しています。



2020年2月より、東三河であんきネット活動が立ち上がりしました

誰もが健康で心ゆたかに安心してらせる 地域社会づくりをすすめます

住みなれたところで安心して暮らし続けるために

利用者の尊厳を守り、自立支援に向けた取り組み… 福祉事業

身体機能の維持・向上をめざし、生協 10 の基本ケアに基づく生活リハビリの実践をすすめています。生協 10 の基本ケアでは特に①～⑤を重視しています。コロナ禍で職員が集まっの介護技術研修はできませんでしたが、各事業所で取り組んだ事例について共有化をすすめ、優れた事例の横展開をすすめました。

生協 10 の基本ケア

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 換気をする | ⑥ 座って会話をする |
| ② 床に足をつけて座る | ⑦ 町内へ外出する |
| ③ トイレに座る | ⑧ 夢中になれることをする |
| ④ あたたかい食事をする | ⑨ ケア会議をする |
| ⑤ 家庭浴に入る | ⑩ ターミナルケアをする |

困りごとの相談窓口… コープ相談センター・くらしの相談室

コープ相談センター (2020 年度 888 件の問い合わせ)

困ったときやどこに相談していいかわからないときに、気軽にお電話いただく総合窓口です。内容により、生協の事業所や行政、地域のボランティアグループなどを紹介します。

くらしの相談室 (2020 年度 345 件の相談)

消費者被害・相続・後見・家庭内問題などに対応しています。相談内容をお聴きし、さまざまな専門家とのつながりを活かして解決の道を一緒に考えます。弁護士による「法律相談」や税理士による「税金相談」、NPO 法人ウイメンズ・ボイスによる「女性総合相談」も行っています。



組合員向けに弁護士の面談による法律相談を行っています

困ったときはおたがいさま… くらしたすけあいの会

「困ったときはおたがいさま」の気持ちで、地域で支えあう会員制・非営利の有償家事援助サービスの会です。

コープあいちの組合員が自発的に活動しています。利用会員とあたたかな信頼関係を築きながら、掃除、洗濯、買い物、食事づくりなどの生活支援や産前産後のお手伝いなどを行っています。時には子育て中のママからの育児の相談にのったり、高齢の方の話し相手にもなっています。



子育て支援として、お子さんの食事の見守りをしています



食を通して安心を届けて

大きな物、重い物も安心… ふれあい便

「カタログ販売ではなく、商品を見て買物したい。でもたくさん買うと持って帰れない」そんな声から、コープあいちの一部店舗では、店内でお買い上げいただいた商品を預かり、玄関先までお届けするサービスを行っています（常温商品のみ対象の店舗あり）。

コープとよあけ店とコープ上社店では、店内ご購入の全温度帯商品を月～金曜日、ご自宅へお届けしています。「朝、開店と同時に来て買い物して商品を預けて病院へ行き、家に帰ってゆっくり商品が届くのを待つ、これが便利」というお声もいただきます。



ふれあい便受付の様子

バランスのとれた食事で安心のくらしを… 夕食宅配

お弁当配達を通じて利用者とのかわりを大切にしています。毎日違う献立の夕食用のお弁当を週 5 回（月～金曜日）、冷蔵でお届けしています。普通食での食事が困難な方向けに 2019 年 3 月より介護食・医療食の取り扱いを開始しました。2020 年 4 月からは土日にも利用したいという声に応え、冷凍おかずの取り扱いも開始しました。商品をお届けした際に、前日のお弁当がそのまま残っているときには、事前登録いただいた緊急連絡先に連絡し安否確認のお手伝いをしています。



夕食宅配配達の様子

くらしに欠かせない商品を早朝にお届け … モーニングコープ

最大週 2 回、早朝 7 時までに注文品をお届けしています。牛乳などの乳製品から卵・野菜・果物・精肉・パン・惣菜・化粧品まで、こだわりの商品が中心です。50 代～ 70 代の少人数世帯を中心に、コロナ禍のくらしも応援。「商品カタログの掲載商品数もほどよく、注文しやすい」「注文商品が週に 2 回届き、便利」「おでかけ前の早朝に玄関先に置いてあるので助かる」などの声をいただきました。



モーニングコープの配送の様子
お届け時の騒音に注意しています

毎日の買物を支える… 移動店舗

「近くにお店がない」「運転免許証を返上してしまい、遠くに買い物に行けない」など日々のお買い物に困る状況があります。コープあいちでは、大高インター店を母店に週 23 カ所、移動店舗車による販売を行っています。高齢者の孤立防止という福祉の視点から、各地域の社会福祉協議会や自治会にも協力いただき、「地域の方たちのコミュニケーションの場」ともなっています。



お買物風景

消費行動やくらしのあり方を見直しながら、持続可能な食の循環を発展させます

「利用」から見える、世界・地球とのつながり
消費行動や食生活を考える取り組み

「利用」から見える、世界・地球とのつながり

持続可能な食をめざして…エシカル消費

事例 ディルマ紅茶 スクールバッグ提供支援プロジェクト

ディルマ紅茶1品利用ごとに1円を、スリランカの小学校入学児童のスクールバッグ購入資金に活用します。2019年8月1日～2020年7月31日の東海3生協の利用は46,558円の寄付に相当し、77個のスクールバッグを提供しました。



スリランカの子どもたち

くわしくは
こちらから▼



事例 コープの森づくり

対象商品1品利用ごとに1円を、森づくりの苗木代や管理費として活用しています。2020年度は合計で112万7,721円を寄付をしました。

沖縄・恩納村漁協 サングの植え付け	53万1,012円
北海道・野付漁協の お魚を増やす植樹	46万3,165円
インドネシア・ マングローブ植樹	13万3,544円



マングローブの植林活動（職員研修）

恩納村の
取り組みは
こちらから▼



事例 うなぎ資源対策協力金

国産うなぎを継続的に利用できるように対象商品1品利用ごとに3円が鹿児島県うなぎ資源増殖対策協議会と愛知県養鰻漁業者協会へ寄付され、うなぎ放流活動などに使われています。2020年度の東海3生協の利用は、472,827円の寄付に相当します。



2020年10月27日贈呈式がおこなわれました

COOPのエシカル商品

事例 コープの洗剤環境寄付キャンペーン

対象商品1品利用ごとに0.5円が、WWF ジャパンによるボルネオ島森林保全プロジェクトに使われます。2020年5月21日～2021年3月20日の東海3生協の利用は280,284円の寄付に相当します。



対象商品一例

事例 COOP コアノンスマイルスクールプロジェクト

1パックの利用ごとに1円を、ユニセフ（国際連合児童基金）を通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付しています。2019年11月1日～2020年10月31日の東海3生協※の利用は951,822円の寄付に相当します。



対象商品一例

事例 COOP × レッドカップキャンペーン

対象商品1品利用ごとに1円を、国連 WFP 協会を通じて、カンボジアの子どもたちに学校給食を届ける活動に寄付しています。2020年10月1日～11月10日の東海3生協※の利用は565,894円の寄付に相当します。



対象商品一例

レッドカップ
キャンペーンは
こちらから▼



※東海3生協とは、コープあいち、コープぎふ、コープみえ

消費行動や食生活を考える取り組み

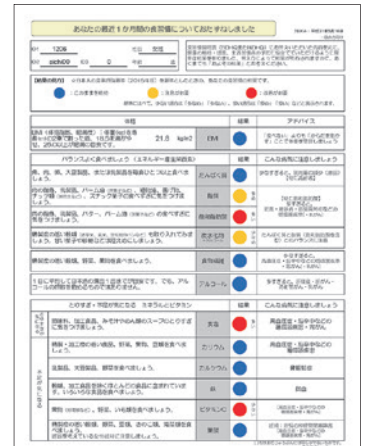
「食べる」をはかる…私の健康 食習慣チェック活動

組合員の食習慣の把握や食生活改善のきっかけづくりを目的として、ご自宅にて、BDHQ※を受診できる『おうちで食習慣チェック』を実施しました。組合員とご家族、延べ1,140名が参加し、「改めて食生活を見直すきっかけになった」「普段は企画に参加できない家族も参加できて良かった」といった感想がありました。『食塩を摂り過ぎている』という結果が出る人が多いため、減塩スープレシピを食育サイトで紹介、また調理動画を作成して配信しました。

※BDHQとは自らの食習慣を手軽にチェックする質問票です。



お酢を使っておいしく減塩
(フリーズドライたまごスープアレンジ)



簡単な質問に答えると、
食生活や改善点を知ることができます

コロナ禍のSDGsと「もったいない」を考える

もったいないセミナー

食べられずに捨てられてしまう食品ロスは、日本で約600万トンです。この現状を減らすには、食品の製造事業者などと消費者を「つなぐ」視点を持ってサプライチェーン全体で取り組むべきです。「コロナ禍でのSDGsともったいないの社会をめざすセミナー」を開催し組合員、取引先、行政など140人を超える多くの方が参加しました。



もったいない懇談会

「消費者が考えるコロナ禍の中のもったいない・食ロス削減と生産から流通と小売」をテーマに、「もったいない懇談会」を開催しました。消費者と事業者がもったいないの社会をつくるために目線を合わせていくことを目的としました。



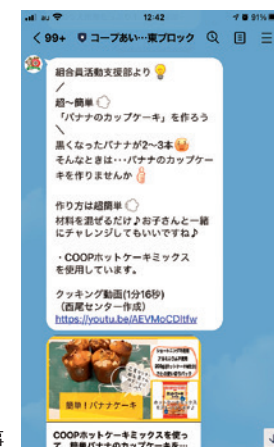
もったいない
懇談会の様子
はこちらから▼



インターネットを活用した活動のつながり

ブロック LINE

インターネットSNSツールの「LINE」での情報提供を始めました。組合員に、商品の学習会やイベント企画などを地域ごとにお知らせしています。「LINE」アカウントは地域ごとのブロック単位（7ブロック）で運用しています。



ブロック LINE の投稿記事

虹の会 オンライン商品学習会

コープあいちの取引先の会「虹の会」が主催する、オンライン商品学習会を始めました。20年度はトーノーデリカ、内堀醸造、野田味噌商店に講師をお願いしました。21年度も、定期的取引先とのオンライン学習会を開催します。



第1回学習会の様子

地球温暖化対策に積極的に取り組み 未来の子どもたちへ引き継ぎます

今日からできる環境を守る暮らし方

考えよう、プラスチックとの賢いつき合い方…脱プラ・減プラ

ポイ捨てされたり適正に処理されなかったプラスチックごみによる深刻な海洋汚染がすすみ、海洋生物に大きな影響をおよぼしています。

国際的な目標である SDGs においても「人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減すること」、「海洋ごみや特に陸上活動によるあらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減すること」が人類共通のターゲットとして定められています。

コープあいちは、3R（スリーアール）+B（バイオマス）※の視点でこの問題に取り組んでいます。

※ ◆ Reduce（リデュース：使用量削減） / ◆ Reuse（リユース：繰り返し使う） /
◆ Recycl（リサイクル：再資源化・再生） + ◆ Biomas（バイオマス：植物由来素材利用）

〈宅配事業〉

商品に使用する包装資材について、「ラベルレス化」「紙容器への変更」「再生PETの利用」などの対策をすすめると同時に、商品案内の対象商品に“脱プラ・減プラマーク”をつけることで、組合員の理解と利用につなげる取り組みを始めました（2020年7月より実施）。

〈店舗事業〉

店舗開設当初からレジ袋の有料化に取り組んでおり、2020年7月の義務化以前から買い物袋の持参率は高いレベルを維持しています（2020年度のレジ袋の持参率は、93%）。また、植物由来素材を含む食品トレーの使用をすすめています。



プラスチック容器の削減や生分解性のあるトレーへの切り替えをすすめています



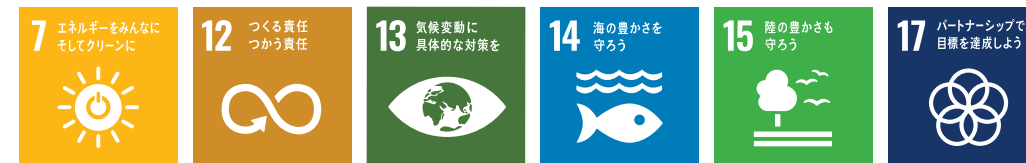
プラスチック容器削減の店頭お知らせ
(コープ上八田)

循環型環境社会に貢献…エコセンター

東海コープエコセンターは、東海3生協で回収された紙類（商品案内、OCR注文用紙）、プラスチック系再生資源（内袋、卵パック）を資源化するための中間処理（異物除去・圧縮処理）を行う施設です。コープあいちの特例子会社である（株）ハートコープあいちで働く10人の障がい者が作業にあたっており、仕事を通じた社会参加と事業を通じた環境と地域社会への貢献をめざしています。

■ 2020年度の主な中間処理実績 *（ ）内は主な最終製品

- ・商品案内・OCR注文用紙……………8,950トン（再生紙・商品案内など）
- ・宅配内袋・商品案内ラッピング袋……………116トン（ハンガー・建築資材など）
- ・卵パック……………98トン（自動車の内装品など）



今日からできる環境を守る暮らし方
循環型社会の実現に向けて

循環型社会の実現に向けて コープあいちの実績

◆食品ロスの削減 「もったいない」を「ありがとう」に

家で余っている食品を捨てるのではなく、必要としている人に届けるためのフードドライブの取り組み（実験）をコープ上社店で行いました。5回の取り組みで86.5kgの支援品が集まり、セカンドハーベスト名古屋※へ届けました。 ※セカンドハーベスト名古屋については、P13に記載

〈寄付実績（重量）〉

1/13（8.3kg）、1/27（21.7kg）、2/10（30.6kg）、2/24（9.5kg）、3/10（16.4kg）



コープ上社店の店頭案内

◆事業活動でのリサイクル

宅配および店頭回収品

回収品目	回収量 (t)	前年比較	再利用用途	回収品目	回収量 (t)	前年比較	再利用用途
商品案内	4,124	94.3%	再生紙 商品案内 など	卵パック	41	82.9%	自動車の 内装部品など
牛乳パック	121	109.7%	トイレット ペーパー	発泡トレイ	8	98.6%	建設資材 など
シッパー内袋 商品案内外装	75	104.7%	ハンガー・ クリアファイル・ 建築資材など	飲料缶	13	106.8%	鉄・ アルミ製品
				PET ボトル	14	148.8%	容器・ 繊維製品 など

事業所で排出した廃棄物のリサイクル

発生品目	回収量 (t)	前年比較	再利用用途
野菜くずなど	141	133.9%	バイオガス発酵後発電燃料に
廃プラスチック	78	158.1%	固形燃料
発泡スチロール	17	97.4%	建材・文具等



2030年温室効果ガス削減計画

「コープあいち環境政策」では「コープあいち 2030年温室効果ガス削減計画」を策定しています。事業から排出する温室効果ガスを2030年には2013年度比で40%削減することを目標にして使用エネルギーの削減と再生可能エネルギーの積極的な利用をすすめています。

事業で排出したCO₂排出量（2020年度）

	2019年度	2020年度		
	CO ₂ 排出量 (t)	CO ₂ 排出量 (t)	前年差 (t)	前年比
コープ宅配事業	4,070	4,163	93	102.3%
店舗事業	4,810	4,539	▲271	94.4%
福祉事業	417	440	23	105.5%
本部・生活サービス	431	410	▲21	95.2%
コープあいち合計	9,728	9,552	▲176	98.2%

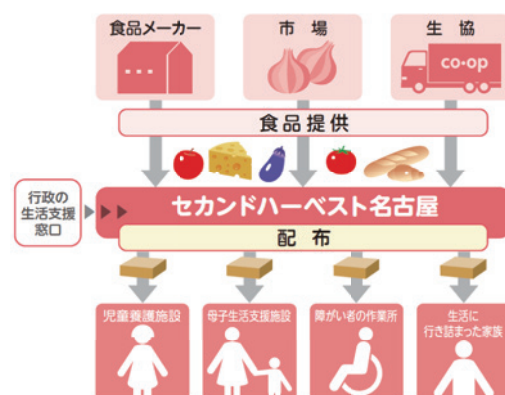
飢餓や貧困をなくし、 子どもたちを支援する活動を推進します



食のセーフティネット … フードバンク・セカンドハーベスト名古屋

「認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋（以下 2 HN）」は名古屋市を中心に東海 3 県でフードバンク活動※を行っています。東海コープは、2015 年から賞味期限が近い食品など、お届け基準を外れて処分せざるを得なくなった商品を、2 HN を通じて福祉施設等の団体・個人へ寄付しています。2020 年度はコロナ禍で、フードバンク活動縮小を余儀なくされ、寄付量は 50 トンと前年比 80% でしたが、個人への支援件数は 5,600 件と前年を 12% 上回りました。

※まだ十分食べられる食品を募り、食べ物を必要としている方に届ける活動および団体を指します。



すべての子どもに、かけがえのない「子ども時代」を … ユニセフ募金活動

コープあいちでは、世界中の子どもたちが十分なケアを受け、よりよい人生のスタートがきれるよう、ユニセフ募金に通年で取り組んでいます。主な取り組みは「ハンド・イン・ハンド」と「お年玉募金」です。「ハンド・イン・ハンド」は組合員による街頭募金活動のため、新型コロナウイルスの影響で実施できませんでしたが、店舗に募金箱を設置するとともに、日本ユニセフ協会のホームページ内にコープあいちのオンライン募金ページを登録して支援を呼びかけました。また、5 歳未満児死亡率や栄養不良の子の割合が高いミャンマーへの指定募金を行いました。



ささえたい、路上で生きる子どもたち … ICAN（アイキャン）

フィリピンで生活支援活動を行う認定 NPO 法人アイキャン（I CAN）と連携し、学習交流、書き損じハガキ等の回収に協力しています。書き損じハガキ 1 枚で、子どもたちが勉強するためのノート 2 冊になり、50 枚で栄養改善のためのご飯 100 杯分になります。2020 年のフィリピンは、新型コロナウイルスによる厳しい首都封鎖や経済悪化の影響を受け、多くの人々が職を失い、食事をまともに取ることのできない状況が続いています。こうした状況を支援するために募金を呼びかけ 1,308,000 円の寄付が集まりました。



これまでの書き損じハガキだけでなく募金協力も呼び掛けました

核兵器廃絶と世界平和の 実現をめざし、次世代へ継承します



一人からでもできるアクション … 平和川柳・ぬりえ

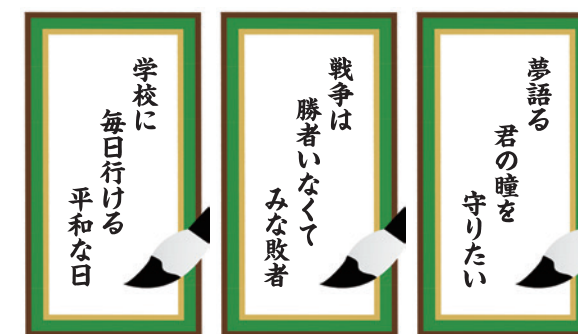
自宅でできる平和の取り組みとして「平和川柳」と「ぬり絵」を募集しました。

132 作品の応募があったぬりえには、ピース・メッセージとして、「みんながみんなのために」、「心おだやかに平和を祈ります」、「一人でも悲しい思いをする人がなくなりますように」など、平和への思いを寄せてもらいました。作品は、各店舗で 8 月に行った平和パネル展で展示しました。

平和川柳には、幅広い年齢層（1 歳から 99 歳）の方から 249 組、529 作品の応募がありました。特別賞 3 作品、平和賞 7 作品、ほこちゃん賞 10 作品の 20 作品が入賞作品として選ばれました。



個性あふれるカラフルなぬりえ作品



529 作品の中から選ばれた特別賞の 3 作品

核兵器廃絶への思いを活動にこめて

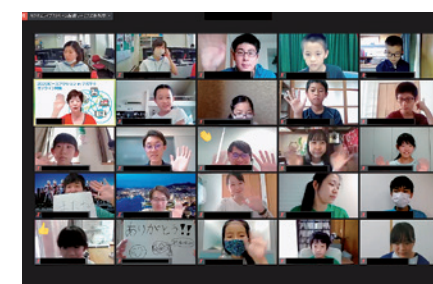
コープあいちは、「平和とよりよい生活のために」をスローガンに、平和の活動を大切にすすめています。「生きているうちに何としても核兵器のない世界を実現したい」という被爆者の思いに賛同し、今年も「ヒバクシャ国際署名」に取り組み、94,131 筆の署名が集まりました（世界で 1,370 万人を超える人が署名）。また、2021 年 1 月 22 日には、核兵器禁止条約が発効されました。これを受けてコープあいちも参加する「くらしと平和・憲法を守る実行委員会」は、核兵器禁止条約学習会を開催しました。コープあいちは、内閣総理大臣と愛知県選出の国会議員に、核兵器禁止条約の批准を求める要請文を送るとともに、全国で新たに始まっている「日本政府核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にも取り組んでいます。



核兵器禁止条約学習会には、オンライン 17 名、会場 33 名の参加

オンラインで 100 生協のべ 6,000 人が参加 … ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

新型コロナウイルスの影響で 2020 ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキは、動画配信・オンライン等を活用した形式で開催しました。コープあいちでも、組合員へ参加を呼びかけました。また、8 月 5 日のヒロシマ企画はパブリックビューイングを開催し 11 名が参加しました。



平和子ども会議オンライン記念撮影



ピースアクション in ヒロシマ企画のパブリックビューイング

多様な人々の共生、おたがいを理解し合える 社会づくりに貢献します

だれもがいきいきと働ける社会へ

より理解し合える職場へ…障がい者雇用

2020年度の障がい者法定雇用率は2.2%です。コープあいちの障がい者雇用率は4.58%（2020年6月1日現在）で、法定雇用率を大きく上回っています。行政報告上の障がい者数は、ダブルカウントをする重度障害の方などいるため、ハートコープあいちを含めて75.5人でした。

コープあいちは、事業所責任者の方に「障害者職業生活相談員」の資格取得を促しています。障がい特性を知り、障がい者が生き生きと働けるようにするためです。事業所では責任者の方を中心に第三者機関とも連携して特性理解を深めています。



特例子会社ハートコープあいち
2016年に特例子会社として誕生。障がいのあるなかまがリサイクル事業の担い手として活躍しています

職員の声



人事部
加藤和広さん

障がい者のみなさんと一緒に日々、奮闘している事業所のみなさんには頭が下がります。着任して初めて知りましたが、当然のことですが障がいの特性は一律ではなく一人ひとり違います。話すのは苦手だが集中力の高い方、ストレスがかかると走り出してしまう方など多様です。それぞれの現場で障がい者に向き合い、その力を引き出すのは並大抵の努力ではありません。障がいのある方と本気で向き合う職場があるコープあいちを誇りに思います。

経験を生かして、さらにチャレンジ…再雇用

コープあいちの過去1年間の定年到達者は、パート職員含め56人（2020年6月現在）でした。56人のうち46人が継続雇用（継続雇用率82%）です。コープあいちでは70歳までの再雇用制度を導入しており、本人の希望により70歳まで働き続けられます。多くの職員が同じ職種で働きますが、宅配で培った安全運転の技術を生かし福祉の仕事にチャレンジするケースも出ています。

働き方の選択肢を持てるよう関連会社とも連携して新たな働き方の検討も始めています。



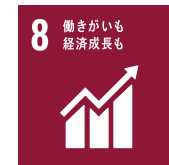
デイサービスの送迎（デイ昭和）
日々、利用者の安全に配慮しています

職員の声



デイサービス昭和
岡本賢司さん

高齢者社会が急速にすすむ中、以前から介護保険制度について関心を持っていたので現場で直接介護に携われる機会があればという想いがありました。そんな中、今の職場から声を掛けていただきました。主な業務内容は、利用者さんの送迎とフロアの見守りです。利用者さんが楽しく安全、安心に過ごしていただけるように心がけています。



働きやすさと力量アップ

コロナ禍だからこそ大切にしたい …職員学習

コロナ禍で産地研修や試食会など従来のような商品学習が難しくなる中、動画を活用した商品学習をすすめました。

動画では、商品の特徴や産地紹介、レシピの紹介や組合員の声などが紹介されており、スマホの業務端末（BIT）でも学習できるようになっています。コロナ禍でも学習できる環境を整え、朝礼や学習会の時間を使って商品知識の向上につなげました。



職員学習用動画

入協5年目の節目研修「ロジカルシンキング研修」では、14名の参加者を2部屋に分け、各会場と講師をオンラインでつなぐリモート形式で開催しました。新しい方法での開催でしたが、しっかりと学びある研修が実施できました。職員の安全を考えた感染対策と、気づきある学習の両立を図りました。



ロジカルシンキング研修

新時代へむけて…新本部事務所の開設

2020年4月に新しい本部事務所を開設しました。新事務所では環境対策として太陽光発電で館内エアコンの電力を全て賄い、屋上・壁面緑化で夏場の館内温度を下げることでCO₂削減を実施しています。また、サイネージによる通達でペーパーレス化に貢献。ランチルーム、トイレは女性目線でリラックスできる優しい空間設計。事務所にフリーデスクを設置し多様な働き方を推進しています。また、日常的な打合せができるスペースを設け、他部署とコミュニケーションアップに活用。地球環境にもひとも優しい新時代の事務所となっています。



職員の声



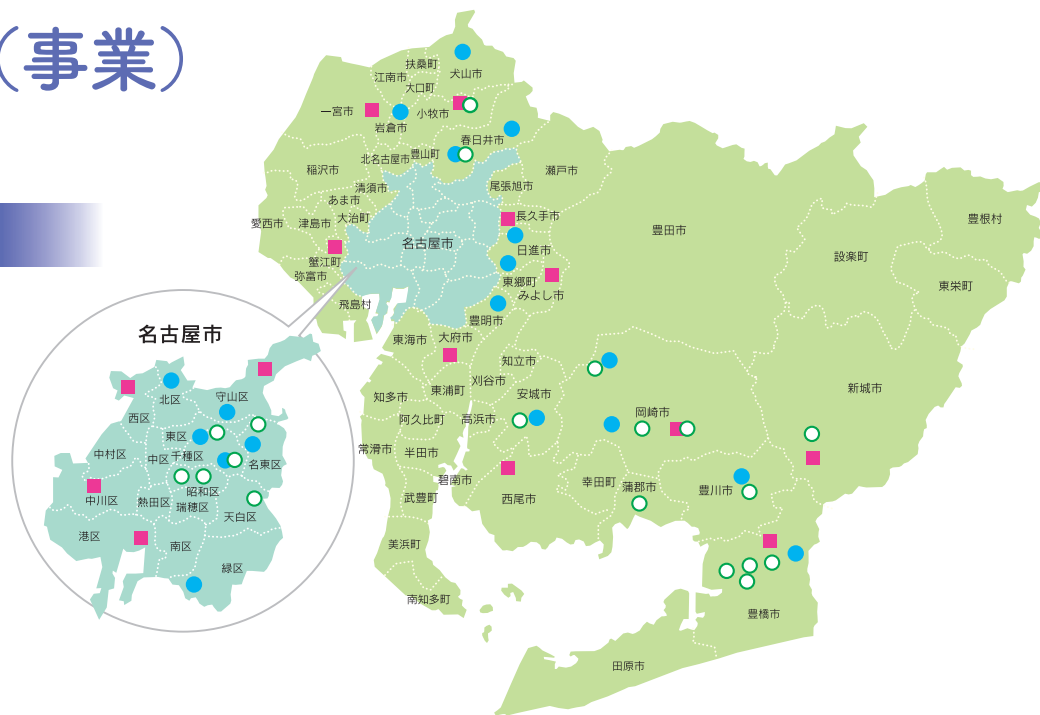
コープ宅配支援部
平澤陽一郎さん

ワンフロアになり、他部署へ気軽に足を運び伝達しやすくなった点は大きな違いです。人事部とやり取りが多いのですが、声がかかりやすくない時も一目で分かるので、相手のスケジュールを確認する手間が省けるのは助かります。

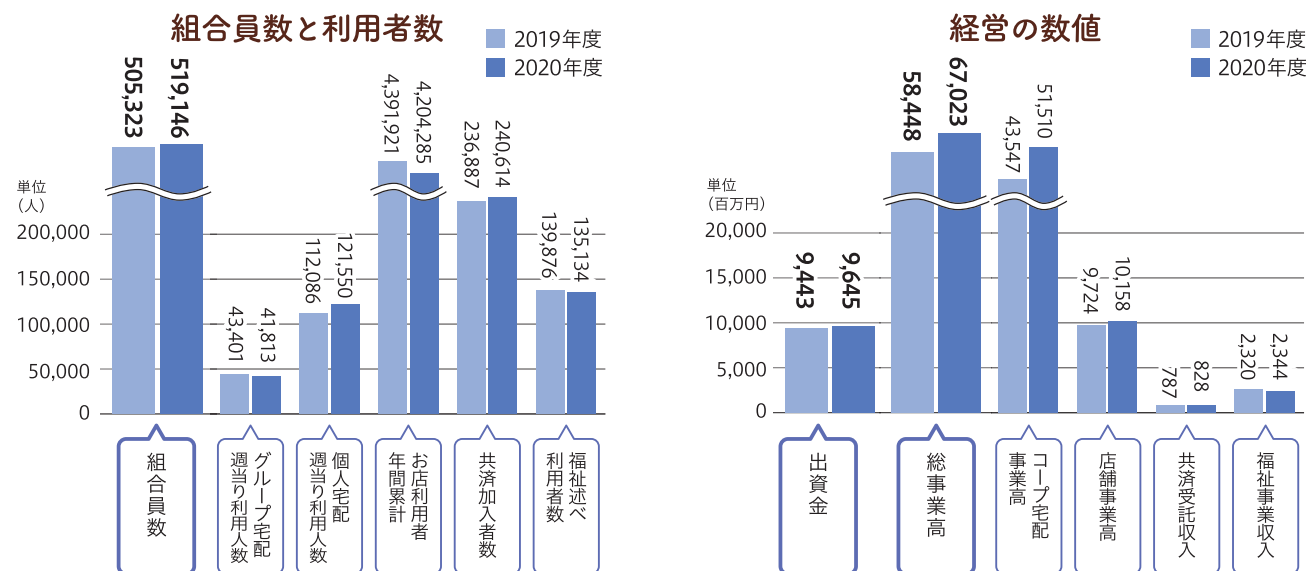


組織状況

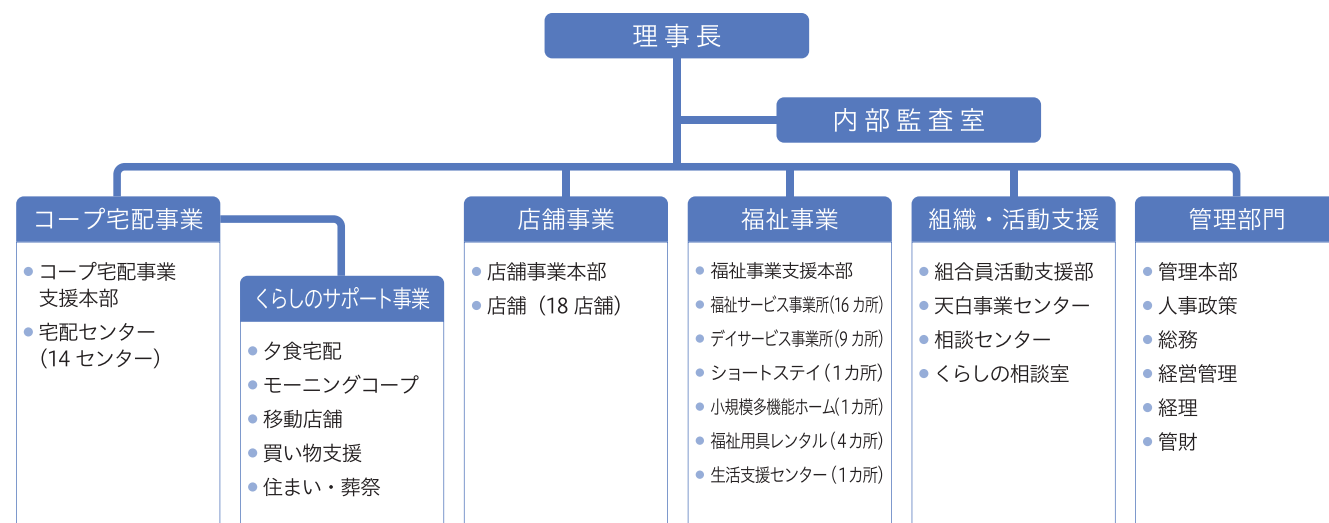
- コープ宅配センター
- 店舗
- 福祉事業所



コープあいちの概要



2021年度マネジメント体制



主要事業 (概況)

コープ宅配事業

14の宅配センターより、愛知県内のすみずみまで商品をお届けしています。配達には1人利用・2人利用・3人以上利用・コープステーションなど、利用される組合員の状況と要望に沿った方法で行います。2020年度の事業高は515億円(前年比118.2%)。生活スタイルに合わせ毎週16万人の組合員が利用しています。



コープ宅配 名東センター

店舗事業

愛知県内に18店舗(尾張エリアに13店舗、三河エリアに5店舗)を展開し、毎日の食生活を支える事業を行っています。2020年度の事業高は約101億円(前年比104.5%)、延べ420万人の方が来店されました。



コープ上社店

福祉事業

県下19カ所の福祉事業拠点と生活支援センターなど、さまざまなサービスを提供しています。20年度の事業高は前年比101.0%、利用者人数は96.6%となりました。

福祉事業は安全で元気の職場づくり、生協10の基本ケアを軸に介護品質の向上に取り組んでいます。

生活支援事業

コープあいち生活支援センターなごやでは、高齢者日常生活支援研修を修了した組合員が、名古屋市の生活支援型訪問サービスを行っています。

身体に負担のかかる家事(掃除や買い物など)のお手伝いを通じ、コミュニケーションをとりながら在宅で高齢者が自立してくらすことを支援しています。

くらしのサポート事業

モーニングコープ、夕食宅配、ふれあい便、移動店舗、葬祭、住まいのコープ、生活サービス事業が、コープあいちの全ての事業と連携し、全職員が働きがいを持ち、組合員により頼りにされ、生協の経営により貢献できる事業へとさらに発展するためにみなさんと一緒に活動しています。

共済事業

CO・OP共済《たすけあい》《あいぶらす》《ずっとあい》の加入件数は240,614件です。CO・OP共済は生協組合員が加入できる保障商品です。全国で約867万人の加入者があり、2020年度はコープあいちだけで34,978件、17.1億円の共済金をお支払いしました。

※2021年4月現在の数値です。

天白文化事業センター

会館では17ほど※の講座を定期的に開催しており、子ども向けのピアノや造形絵画の講座もよく利用されています。それ以外にも一日のみの講座も毎年開催しています。

※2020年度はコロナ禍のため講座は一部のみ



子ども造形絵画講座の様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



編集にあたって

●この報告書は、コープあいちの環境、地域社会への貢献、商品やサービスの安全性確保、品質レベルアップ、消費者・組合員へのサポート、労働環境や人権への配慮など、1年間の活動全体を紹介するものとして編集しました。

報告書の対象範囲

この報告書はコープあいちの全部局・全事業所および委託先関係団体の環境活動・事業活動をまとめたものです。対象期間は2020年3月21日～2021年3月20日までとしています。なお一部範囲を超えた記述も掲載しています。

発行年月

2021年6月。次回は2022年6月の発行予定です。

インターネットでの関連情報の閲覧について

関連情報はこちら

コープあいち 社会的活動報告

検索



- 本文にはユニバーサルデザインの視点に基づいた書体（UD フォント）を使用しています。
- FSC® 森林認証紙を使用しています。
- 環境に配慮した植物油インキを使用しています。
- 有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷方式を採用しています。
- 水性のりを使用した「のり綴じ製本」を採用しています。針金を使用しないため、安全性に優れています。

発行日 2021年6月 5,350部

〒465-8611

名古屋市長東区猪高町大字上社字井堀25-1

TEL.052-703-6022 FAX.052-703-3387